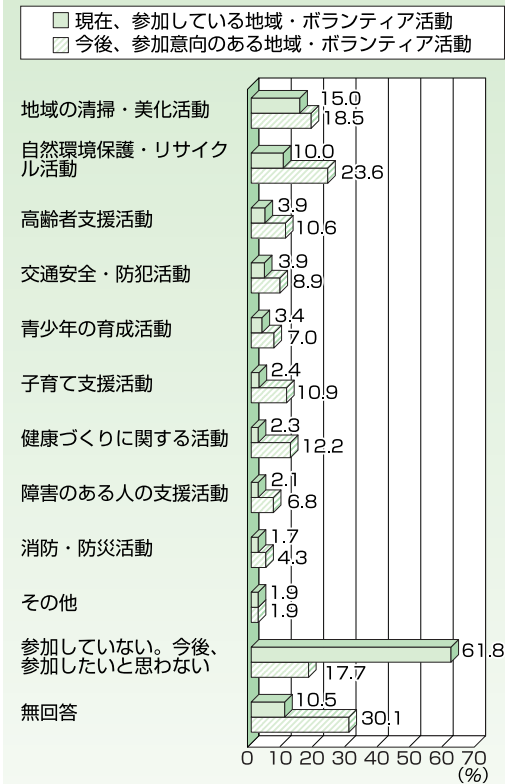


今号の主な記事

- ◇緊急雇用対策
非常勤職員を募集……………2面
- ◇所得税・市県民税
申告・納税受付は3月16日まで…3面
- ◇公民館特集……………6・7面



地域・ボランティア活動
質問 現在、あなたはどのような分野で地域・ボランティア活動に参加していますか。また、あなたは今後、どのような分野の地域・ボランティア活動に参加したいと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。



地域の人たちが街路樹の落ち葉拾い等地域の清掃・美化に取り組んでいます

地域の清掃 15%
自然環境保護活動 10%

回答 ボランティア活動への参加率は、27.7%で、非参加層が6割強になっています。しかし、「今後、参加したいとは思わない」が17.7%で、潜在的な参加意向はあると考えられます。

参加活動は「地域の清掃・美化活動」(15.0%)が最も高く、次に「自然環境保護・リサイクル活動」(10.0%)が続いています。今後の参加意向は「地域の清掃・美化活動」が最も高く、次に「自然環境保護・リサイクル活動」(23.6%)が続いています。

市民意識調査結果

共に考え進める まちづくり

市は毎年「市民意識調査」を行っています。市の施策について市民の皆さんがどのように考えているのかを調査し、まちづくりに反映させる基礎資料としています。今年度は「消費生活」「くらしの安全・安心」「地域・ボランティア活動」「水道水」「西宮のこれからのまちづくり」の5テーマを昨年9月に調査しました。市民の皆さんからいただいた回答の集計がまとまりましたので、その一部を紹介します。

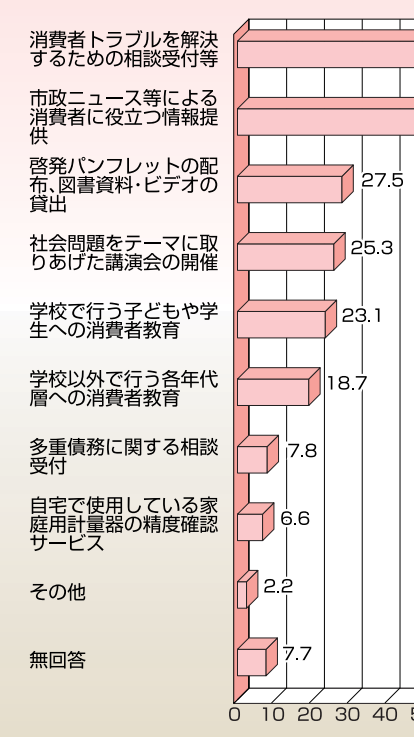
今後、さらに分析を加えてまとめた報告書を2月下旬に発行します。その内容は市立図書館等でご覧いただけるほか、市のホームページ(アドレスはページ下参照)にも掲載をします。

問合せは市民相談課(0798・35・3100)へ。

消費生活
質問 消費生活センターのサービスで利用したいサービス、もっと充実させてほしいと思うサービスについて、あてはまるものを3つまで選んでください。

回答 「消費生活センターのサービス」を利用したいサービスは「消費者トラブルを解決するための相談受付やアドバイス・あっせん」(57.8%)が最も高く、次に「地域情報誌「宮っ子」や市政ニュース、インターネット等による消費者に役立つ情報の提供」(49.8%)が続いています。

消費者トラブルの相談 57.8%



も高く、次に地域情報誌「宮っ子」や市政ニュース、インターネット等による消費者に役立つ情報の提供(49.8%)が続いています。性別・年代別では40代で消費者トラブルを解決するための相談受付やアドバイス・あっせんが70.2%と高く、逆に60代(50.8%)、70歳以上(40.7%)では低下しています。また、20代から40代までは「学校で実施する児童・生徒・学生への消費者教育」が3割以上で、50代以上は「社会問題をテーマに取りあげた講演会の開催」が3割程度になっています。

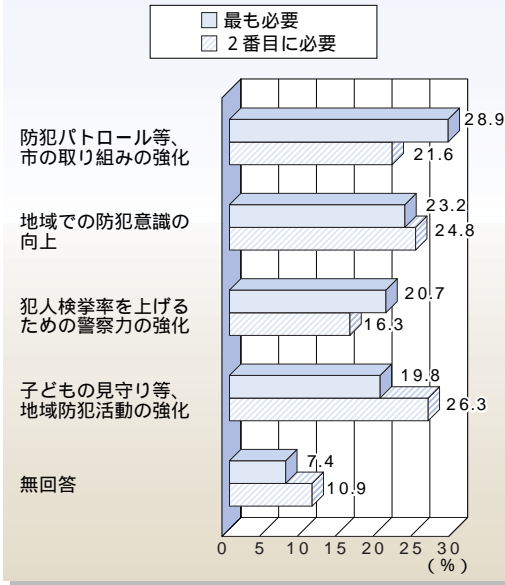


防犯パトロール等の強化 28.9%

くらしの安全・安心
質問 地域の治安を良くするために必要なのは、何だと思いますか。必要と思う順に2つまで選んでください。

回答 「防犯パトロール」が1番目に必要で、「防犯パトロールの強化」が28.9%と最も高く、次に「地域の安全は地域で守るという防犯意識の向上」が23.2%と続いています。

性別・年代別では、最も必要なこととして、20代と30代の女性は「子どもの見守りやパトロール等、地域での防犯活動の強化」が26.3%で最も高くなっています。



「地域の課題」共に考える

市長からのメッセージ

今年も多くの皆さんに「市民意識調査」にご協力いただき、心から感謝を申し上げます。

私は地域の課題について、住民どうしが考え議論し、協力して行動し、それを行政が対等な立場で支援する関係をつくっていきたくと考えています。今年4月から「市民の参画と協働に関する条例」が施行されますが、この制度に命を吹き込み、住民が主人公の西宮をつくるのは、まちづくりに参加していただく皆さんです。

市の職員も地域へ出ていって皆さんのご意見・ご要望をお聞きし、また市の施策を説明します。私も、パブリックコメントや「市民の声」に寄せられた様々なご意見を参考にしながら、「西宮に住んでよかった」と思っていただけじゃなく、まちづくりを進めてまいります。共に良いまちづくりを進めましょう。

西宮市長 山田 知